



HPはこちら ▶



地域と共に歩む“かかりつけ農家”～次世代へつなぐ農業を目指して～

米井ファーム株式会社 (岡山県津山市下高倉東1197)
TEL : 0868-32-9843 / URL : <https://www.yoneifarm.co.jp/>

令和8年2月19日現在



経営概要

経営面積	水稲 (40ha) 、麦、大豆 (計60ha)
主な業務	水稲・麦・豆類等の生産・販売
労働力	代表取締役 米井 崇恭 従業員10名
取組の経緯	高齢化で疲弊していく地元の水田を目の当たりにし、農地を荒らすことなく、水路等のインフラや農村の景観・伝統・文化を守っていくのは自分しかいないと決意。38歳で地元市役所職員から家業を継いで農業へ転身。令和3年に法人を設立し、地元中山間地域の農家や消費者から頼られる“かかりつけ農家”として、地域の暮らしと食を支えている。



米井ファームのロゴ



取組内容

節水型乾田直播で生産力アップ	種もみを乾いた土に直接まき、降雨や必要な時だけ水を入れる「節水型乾田直播」を実践。少ない水でも土中の養分を吸収しやすくするため、資材メーカー等の協力を得て収量の安定化に取り組む。育苗や田植えは不要、水管理も省力化できることで、作業時期の分散による効率化を実現。中山間地域での生産力アップと更なる農地の集積に結びつけていく。
地域資源の活用と環境負荷低減の取組	地元畜産農家と連携した堆肥、岡山のカキ殻やバイオ炭など地域資源を活かした土づくりに取り組む。また、節水型乾田直播での水稲栽培による温室効果ガス排出抑制、土壌分析による施肥管理やバイオ炭の施用を組み合わせた環境負荷低減の取り組みを進める。
農地を守るチャレンジ	小規模なほ場が多い中山間地域で、地域性を活かした持続可能な農業の形を実現するため、担い手同士の連携強化を図る。地元の農地を「使い続けられる形」で守るため、土壌の特性を生かした栽培方法の確立と、耕作放棄地の解消を目指していく。



米井米をお届けします (by米井代表)



節水型乾田直播ほ場の様子



今後の展望

- ◆大規模化によるコスト低減や、節水型乾田直播やバイオ炭施用といった環境に配慮した技術で差別化を図り、商品の付加価値を生み出していくなど、自身のアイデアを活かした中山間地域農業のロールモデルを目指す。
- ◆農業を通じて人と暮らし、文化を守り、人と自然が共生できる社会の実現のため変化を続ける。また、地元の景観を守り、積み重ねられてきた想いを次世代につなぐために、持続可能な農業を確立していく。